



9/3・4 23・24 | モニターツアー開催



インバウンド誘客事業の一環としてモニターツアーが実施され、台湾の大手旅行会社やインフルエンサーが参加しました。

この事業は、「あか牛」を活用した上質な食体験プログラムで国内外からの誘客を図ることを目的としており、ツアーでは農林水産省「料理マスターズ」受賞歴を持つ宮本けんしんシェフ（熊本市）監修によるあか牛や地元食材を使った特別ディナーのほか、400年の歴史を持つ裏千家の先生を白川水源にお招きして野点などが行われました。

ツアーの販売開始により、台湾からの観光客増加が期待されます。

9/12 | 地元食材で作る学校給食



白水小学校に村内の小中学校へ食材を提供している農家6人が訪問しました。

今回の訪問は、子どもたちに生産者を意識してもらうことで、地域の食文化への理解を深めてもらうことを目的に行われています。

当日は、米や大豆、かぼちゃなど当日の給食に含まれている食材を育てた6人の農家が教室を回り、児童たちにあいさつと野菜についてのクイズなどを行いました。農家の人は児童たちへ向けて、「これからも野菜を食べて、野菜をもっと好きになってください」と話されました。

9/13・20 | 旬の味覚を地元の子どもたちに



ミニトマトを受け取る白水小学校の児童

JA阿蘇白水ミニトマト部会から、はくすい保育園と白水小学校の園児・児童に対し、地元で採れた箱いっぱいのミニトマトが贈呈されました。

この取り組みは、食育の観点から白水地区で採れた農作物の美味しさを地元の子どもたちに知ってほしいという目的で毎年行われています。

子どもたちはミニトマトを受け取ると、元気に感謝を伝えていました。

9/18~20 | 中学生が保育園の仕事体験



南阿蘇中学校の2年生3人が、ちょうよう保育園で職場体験を行いました。

職場体験では日ごとに別のクラスに移動し、生活全般のお世話や、掃除などを通じて保育士の仕事を学びました。

ちょうよう保育園を訪れた生徒からは「園児がけんかした時は大変だと思ったけど、園児たちはかわいいのでやりがいをを感じる」「職場体験が将来やりたい仕事を考えるきっかけになった」などと感想を述べられました。

9/18 農村の景観・生業と社員・地域を守る プロジェクト連携協定締結



役場庁議室にて本村、村農業みらい公社、一般社団法人熊本県子ども食堂ネットワーク、株式会社RKKCSの4者による連携協定調印式が行われました。

この協定はRKKCSが本村に企業版ふるさと納税を行うとともに、災害備蓄米として村農業みらい公社から毎年無農薬米300kgを購入し、災害などで使わなかった場合は、熊本県子ども食堂ネットワークに寄付をすることで農村の景観と地域を守るためのプロジェクトです。

9/19 後藤さんからひまわりの種贈呈



後藤治幸さん(中松三)から村内小中学校の児童、生徒たちへひまわりの種が贈られました。

このひまわりの種は広報9月号の村と人で紹介した福岡県みやま市の桜舞館小学校から届いた種を後藤さんと妻のゆき子さんが育て、開花したひまわりから採取した種です。

後藤さんは「子どもたちがひまわりを育てることで学校同士の交流につながれば嬉しい」と話されました。

9/20 村に知事がやってきました



役場大会議室にて、「お出かけ知事室～ともに未来を語る会～in 南阿蘇村」が開催されました。

このイベントは木村知事が県内市町村に出向き、県民の意見や提案を直接聞くことで県政へ速やかにつなげることを目的に行われています。

当日は質問者として6人が参加し、海外交流促進やオーバーツーリズム対策などの話から、知事の学生時代の話や自身の体験したエピソードなど幅広い話題で知事との交流を深めていました。

9/20 コッコロが来ました！



はくすい保育園にて、県人権啓発キャラクターのコッコロ隊による人権啓発イベント「コッコロおたのしみ会」が行われました。

イベントでは、コッコロ隊による寸劇を交えた人権に関する〇×クイズ、コッコロの歌やダンスなどが行われ、園児たちは楽しく人権について学んでいました。

最後には記念撮影が行われ、園児たちは喜んでコッコロと写真に納まっていました。



9/25 松野孝雄さん 全国公民館連合会 表彰功労者表彰受賞



第69回熊本県公民館大会・令和6年度社会教育研究大会合同大会阿蘇地区大会において、松野孝雄さん(新所)が全国公民館連合会表彰功労者表彰を受賞されました。松野さんは令和3年6月から約2年間、熊本県の公民館連合会会長を務められていました。今回、会長として公民館が、地域コミュニティの形成・維持や地域の防災拠点の役割を担うという存在意義を社会へ広めてきた功績が称えられ、表彰されました。

9/28~30 日本スポーツマスターズ長崎大会 「バドミントン競技」で5位入賞



左端が田所秀則さん

生涯現役のアスリートが参加する日本スポーツマスターズが長崎県諫早市で開催され、村バドミントン協会の田所秀則さん(第2駐在)がバドミントン競技男子団体の県代表として出場しました。男子団体は50歳以上、55歳以上、60歳以上の3複からなる戦いで、5チーム対抗の予選リーグは1位で勝ち上がり、決勝トーナメントに進出。準々決勝で地元長崎県には敗れはしたものの、5位入賞という成績を収められました。

9/30 手交式開催



阿蘇立野ダムと村の雄大な自然を活かし、復興・交流・新たな観光を創出することを目指した阿蘇立野ダム周辺かわまちづくり計画が、国土交通省のかわまちづくり事業に登録されたことから、役場2階庁議室にて手交式が開催されました。手交式では、福井熊本河川国道事務所長から吉良村長へ登録証が手渡されました。

今後は、国土交通省の支援をいただきながら、阿蘇立野ダム周辺を活用した地域のにぎわい創出を目指し、整備が行われる予定です。

10/4 子ども服「お譲り会」初開催



ちょうよう保育園ホールにて保護者会「さくらクラブ」主催による子ども服「お譲り会」が初めて開催されました。

お譲り会は家庭で使わなくなった子ども服などを、必要とされる人にお譲りするもので、南阿蘇西小学校保護者などからたくさんのお譲り服が提供されました。

保護者会長の野田敬信さん(下田)は「捨てるには忍びないと眠っていた可愛い服たちが、次の世代に引き継がれていく場面に遭遇した気持ちです。保護者同士の交流にもなり、開催してみてよかったです」と話していました。

10/5 谷人たちの美術館 20周年



谷人たちの美術館が今年で20回目を迎えることから、記念イベントがLOOPみなみあそで開催されました。イベントでは南阿蘇太鼓による和太鼓の力強い演奏や餅投げ、バルーンリリースなどが行われ、参加者は非常に盛り上がっていました。

会長の大瀧榮子さん(第3駐在)からは、「今年20周年を迎えることができ皆さんに非常に感謝している。これからも谷人たちの美術館を長く続け、盛り上げていきたい」と抱負を述べられました。

10/6 消防団新入団員訓練



消防団に新規入団した団員を対象として色見生涯学習センターで、新入団員訓練が実施されました。

この訓練は、毎年高森町消防団と合同で開催されており、各町村の防災官、南部分署が救急救命講習(AED取扱い、心肺蘇生法、止血法、搬送法)、規律訓練、消防器具取扱訓練(小型ポンプ、ホース、消火器など)を指導し、各新入団員は消防団員としての基礎を身につけました。今回の訓練で学んだことを今後の活動に活かしながら、地域を守る消防団員としての活躍が期待されます。

子育て支援センター わくわくひろば

Tel.0967 (65) 8580



「わくわくひろば」は、乳幼児から就学前のお子さんと保護者が一緒に遊ぶ、親子の交流や育児の情報交換の場です。毎月楽しい行事などを行っております。どなたでも無料で利用できますので、子育てに不安を感じたとき、一緒に子育てをする友だちが欲しいときなどお気軽にお越しください。

- 開設日時 毎週火～土曜日(祝日は閉所)
午前10時～午後3時
- 場 所 LOOPみなみあそ2階

11月行事予定(午前10時30分から)

参加の際には、必ず事前予約を!!

- 12日(火) 職員研修のため午後閉所
- 14日(木) みんなで遊ぼう(要予約)
阿蘇の療育センターより相談員が来られます。いろいろなおもちゃで遊びましょう。
- 28日(木) 10月11月生まれのお誕生会(要予約) 11時
お誕生日者以外でも参加できます。みんなで一緒にお祝いしましょう。

※(要予約)のイベントは、事前の来所での予約が必要となります。



南阿蘇鉄道に乗りました🚆
長陽駅で8月・9月生まれのお誕生会をしました。



〈お知らせ〉

※都合により、開所日時の変更や、行事予定の変更、中止の可能性があります。村ホームページ、またはわくわくひろば Tel.0967 (65) 8580にてご確認ください。